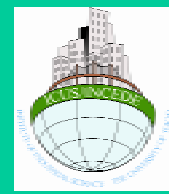


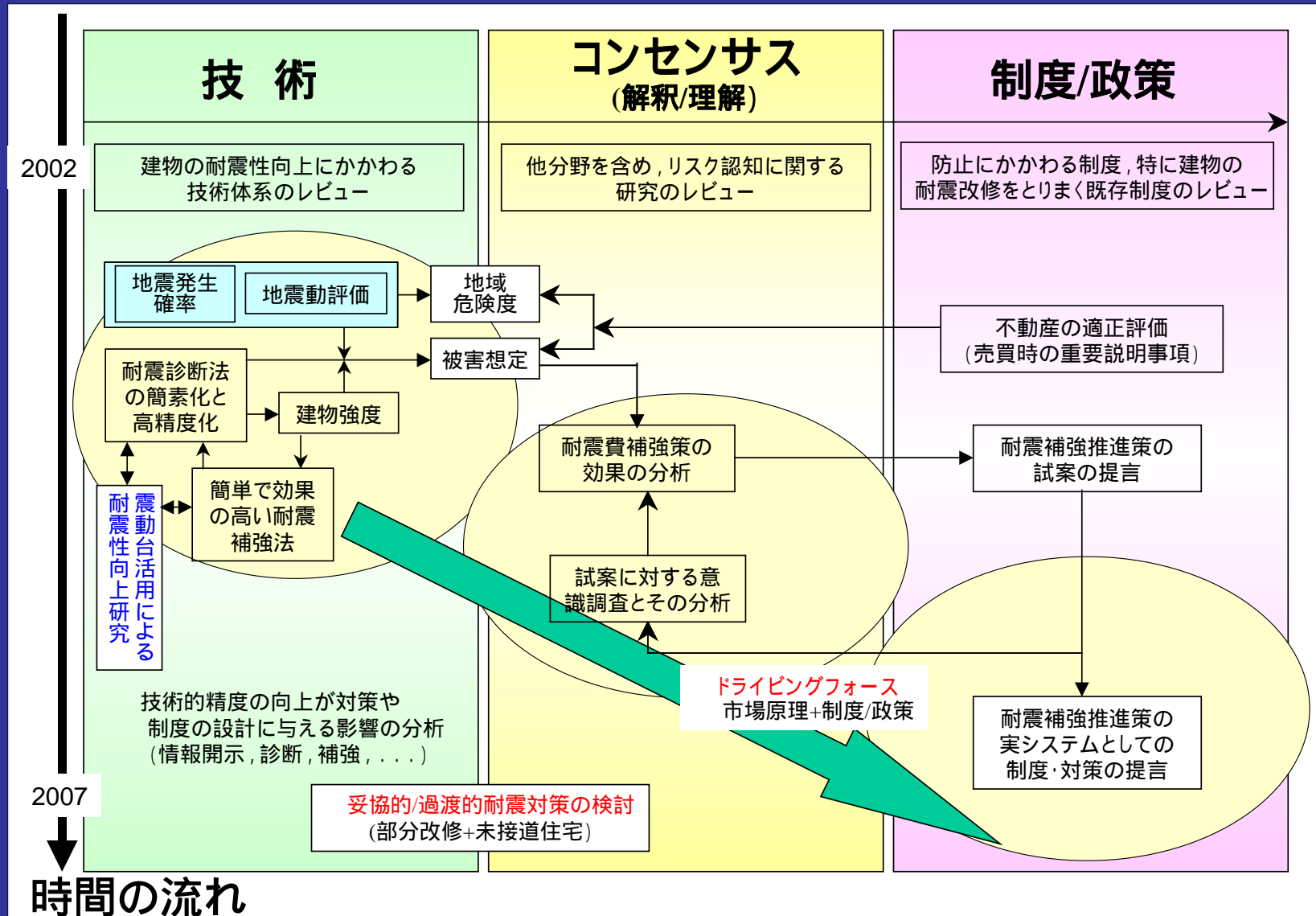


大都市大震災軽減化特別プロジェクト 耐震研究の地震防災対策への反映



Special Project for Earthquake Disaster Mitigation in Urban Areas
Integration of Earthquake Disaster Mitigation Research Results

研究全体の構成



研究の概要

阪神・淡路大震災の教訓から、人的被害を半減させるためには、建物の耐震性能の向上と家具や什器の転倒防止対策等が不可欠であるが、市民の意識やコスト、とりまく制度面の課題などから、具体的な取り組みは充分進んでいないのが現状である。本課題では木造個人住宅を中心に、a) 「簡便・高精度な耐震補強/耐震診断技術の開発」に関する研究、b) 「室内の安全性向上実現」に関する研究、c) 「耐震補強を推進するための制度/システムの提案」に関する研究を行う。a)とb)の研究は、地震防災上最重要課題である既存不適格建造物の耐震補強を効果的に推進するc)に結びつける研究として位置付けられる。

本事業のうち、目黒研究室で担当している研究分野は以下の通りである

- b) 「室内の安全性向上の実現」に関する研究
 - b-1) 地震時の家具の動的挙動シミュレーターの開発
- c) 「耐震補強を推進するための制度/システムの提案」に関する研究
 - c-1) 既存不適格建造物の耐震補強推進制度/システムの開発に関する研究